

心温かい日本の皆様に支えられ、今年画業45年を迎えられたことを心より感謝いたします。私にとって神社への作品奉納は清々しく神聖なもの。奉納奉告祭は、画家を志した時の原点に立ち返ることのできる尊い時間でもあります。そして、今年も銀座アートホールで個展を開催できることを嬉しく思います。最近描いた神話の作品も発表いたしますので、是非ご覧ください。

マークエステル



天地創造 ブロンズ 44×24×36.5

日本の精神文化をこよなく愛し、「古事記」のテーマを描くフランス人画家マークエステル。初来日で水墨画の滲みの美しさに魅了され外交官から画家へと転身を果たしました。以来、油彩で滲みを作るという独自の技法を確立し、ブロンズ、ガラス、陶器、着物や帯の絵付け等創作の幅を広げています。また、一昨年の出雲大社「平成の大遷宮」では作品映像を使ったコンサートが開催され注目を集めました。ライフワークである神社への作品奉納は、現在139社を数えます。今回の個展では、油彩画、立体作品、帯や版画など新旧代表作約80点を展示いたします。自由で生命力に溢れるマークエステルの創造の世界をお楽しみください。

株式会社H & T 代表 濱崎佐知子



錦の渦潮 ガラス工芸 40×40×65



J R / 「新橋駅」銀座口 徒歩3分・「有楽町駅」銀座口 徒歩7分
地下鉄 / 「新橋駅」5番出口 徒歩3分・「銀座駅」C2出口 徒歩7分

■会場 / 銀座アートホール
東京都中央区銀座8丁目110 TEL.03-3571-5170
<http://www.ginza-arthall.com/>

■主催 / 株式会社H & T
東京都世田谷区代田6-6-9-2B TEL.03-6407-4343
E-mail/ info@h-a-t.jp

MARCESTEL

マークエステル展

2015 6/9 [火] ▶ 6/14 [日]

11:00~18:30 最終日は16:00まで

銀座アートホール



H&T Inc.

マークエステル展

2015 6/9 (火) - 6/14 (日)

11:00~18:30 最終日は16:00まで

全日程作家来場



無我夢中で踊る天宇受売命 油彩 122×122

マークエステルについて

岡本太郎

自然と人間の持つ神秘性がマークエステルの心を捉えてはなさない。彼の表現は無限に向かって指向する生命の例証であり、深遠で本質的な世界への展望である。

私にとって重要なことは、ナショナリズムや国境を超越して、芸術が世界に向かって、宇宙に向かって自由に伸びることである。(中略)

マークエステルが好む素材は、自然に流動する液体のように豊かで、貴重で、まるで祭礼の風のように現れ、よどみなく流れ出る。マークエステルは人間誰しも心の底にある感情、愛や喜び、そして悲しみや郷愁を描写しようと努める。私にとって更に重要なことは、子供の絵に見られるような魔法の魅力を持ち合わせることである。(後略)「生命の实在」

PROFILE

マークエステル・スキャルシャフィキ

- 1943 パリ生まれ。
- 1950 家族で南仏コートダジュールのエズに移住。フランスのホテル協会会長である父が経営する「カップエステルホテル」で7歳から50年過ごす。ホテルには世界の著名人が訪れ、若き日の彼の感性を磨いた。近くに住んでいたシャガールは「君は絵描きに向いている。是非画家になったらいい」と勧めた。
- 1960 パリ大学で経済学部で経済学学士号を取得した後、ボザール美術学校とカモンド美術館で学ぶ。
- 1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シューマン外務大臣の秘書となる。
- 1970 大阪万博に訪れ、清水寺の水墨画の滲みの美しさに感銘を受け、画家に転身。岡本太郎氏との交流が始まる。誕生日が同日で16回共に祝う。
- 1981 来日を希望されていたグレース王妃を神戸ポートピア博覧会に案内する。
チャーリー・チャップリン、ビートルズ、ケネディー家、ポンピドゥー家、デビッド・ロックフェラー等と交流を深める。
- 1987 アフリカ及び、アジアの子供達の支援を開始。現在、トーゴ、ブルキナファソ、モザンビークで4つの学校を運営。
- 1989 盛田会長の好意により銀座ソニービル全館使用の個展を開催。
- 1996 伊勢神宮、出羽三山神社より作品奉納の依頼を受けたことを機に全国の神社への奉納を決意。
- 2006 「日本神話 by MARCESTEL」を出版。
- 2007 神道文化会より文化奨励賞を受賞。
- 2008 上野の森美術館にて個展。北京の坦博美術館に常設スペースオープン。
- 2009 南仏 RETIF 美術館オープニング企画に出展。
- 2010 上海万博にアートディレクターとして参画。
- 2011 三浦美術館（松山）にて個展。作品映像を舞台芸術化「神代音絵巻 ～むすひ～」
- 2012 作品映像を舞台芸術化「神代音絵巻 ～えひめ～」
- 2013 出雲大社「平成の大遷宮」奉祝奉納公演「絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ～」に作品映像提供。
- 2014 下村博文文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受賞。
- 2015 九州国立博物館、横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センターにて個展。

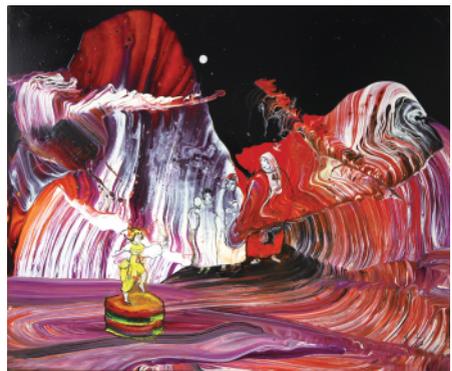


山佐知毘古に子供を託す豊玉比売 ガラス工芸 32.3×23.5×12.5
太陽の祝福 ガラス工芸 14×14×37



天照大御神の寛大な愛 帯の代表作品

一部拡大



天照大御神の天岩戸からの出現によって再び愛の光が広がる 油彩 15F

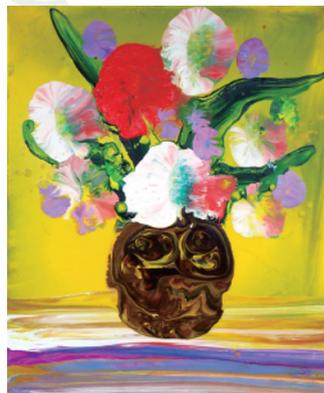


愛に溢れた造化三神 油彩 6F

EXHIBITION MARCESTEL



楽園の鳥たち 油彩 15F



新作

太陽の下の愛情 油彩 8F



母と子のブーケ 油彩 91.5×122



魅惑の街 油彩 4F
30年近く前に描いたサントロベの風景



天照大御神は愛に溢れた光線を放つ リトグラフ 22.5×27.2

手彩入ジクレー版画とは

ジクレー (Giclee) とはフランス語で「吹き付けて着色する」という意味で、現在では高密度デジタル出力の総称として使われています。デジタルの版を使用して制作するため、網点がなく美しい仕上がりが特徴です。ジクレー版画の上に更に作家本人が会場で丹念に手彩を施しエディションを入れ、サイン、捺印をして完成品となります。



私の中の太陽 手彩入ジクレー版画 38.0×45.7



幻想的な空 手彩入ジクレー版画 27.7×33.3